

平成 27 年 10 月 5 日

市政記者各位



アジア都市景観賞事務局
((公財)福岡アジア都市研究所)

2015 年アジア都市景観賞授賞式を開催します

アジアの人々にとって幸せな生活環境を築いていくことを目標に、2010 年に創設されたアジア都市景観賞の授賞式を開催いたします。今年、日中韓・ベトナム・スリランカの 5 カ国 11 団体の受賞が内定しました。授賞式では、環境共生型の持続可能な社会をめざし、心豊かな質の高い都市空間の創出に関連した特色ある都市づくり・都市の景観形成事業の数々が紹介される予定です。

■開催概要

2015 年アジア都市景観賞授賞式

- | | |
|-------------|------------------|
| <ポスターセッション> | 受賞都市によるプロモーション展示 |
| <表彰式> | 受賞都市の表彰 |
| <交流会> | 受賞関係者並びに参加者の交流会 |

※2015 年アジア都市景観賞関連事業として、「チャレンジするアジアの都市景観」をテーマとしたセミナーも同日開催(10:00-12:00)いたします。詳細は別添セミナーチラシをご参照ください。

■日時・場所

1. 日 時：平成 27 年 10 月 27 日(火)

- | | |
|-------------|-------------|
| <ポスターセッション> | 13:30~14:30 |
| <表彰式> | 15:00~16:45 |
| <交流会> | 17:00~18:00 |

2. 場 所：グランドハイアット福岡 3 階グランドボールルーム (福岡市博多区住吉 1-2-82)

■主催



国連ハビタット福岡本部



アジア人間居住環境協会



アジア景観デザイン学会



福岡アジア都市研究所

■後援

福岡県・福岡市・九州大学・一般社団法人芸術工学会・公益社団法人日本都市計画学会九州支部・公益社団法人日本サインデザイン協会・公益社団法人土木学会西部支部・NPO 法人福岡デザインリーグ・株式会社西日本新聞・福岡商工会議所・福岡地域戦略推進協議会

この件についてのお問い合わせ先

(公財)福岡アジア都市研究所 TEL 092-733-5686 (内線 5686)

担当：梶原、唐、夏井(授賞式・交流会当日窓口：梶原)

《2015年 アジア都市景観賞受賞案件》

- 本年度受賞案件 全11件 (順不同)
- ※エントリー総数17件

日本3案件

【アジア都市景観賞】

新潟県南魚沼市	三国街道塩沢宿「牧之通り」
山口県萩市	「萩まちじゅう博物館構想」による萩のまちづくり
福岡県	筑後地域の景観形成

海外8案件

【アジア都市景観賞】

韓国 2案件、中国 3案件、ベトナム1案件

【アジア都市景観賞 審査員賞】

スリランカ 1案件、ベトナム 1案件

【アジア都市景観賞 Asian Townscapes Award. 】

審査員による採点の結果、評価基準に照らして一定水準以上に達した案件に授与される

【アジア都市景観賞 審査員賞 Asian Townscapes Jury' s Award. 】

審査員の審議により、評価基準に到達する可能性がきわめて高く、今後さらなる取組みが期待できる案件に授与される

《ご参考》

主催団体の概要

- 国連ハビタット福岡本部

国連ハビタットは都市化と居住の問題に取り組む国連機関であり、その使命は政策提言、能力開発、国際・地域・国家・地方といったレベルでのパートナーシップ構築を通して、社会的、環境的に持続可能なまちや都市づくりを促進することである。各国政府・地方自治体・NGO・民間のほか、他の国連機関とともに活動を行っており、人間居住に関する関心を高めるなどの情報提供活動を行っている。福岡本部は、地域レベルでの事業活動強化と本部機能の分散化を図るため「アジア太平洋地域事務所」として平成9年8月開設。

- アジアハビタット協会

環境や生態系、歴史的文化遺産と調和した都市開発の重要性について関心と認識を高めるため、平成16年2月に香港で設立された学術団体。アジア各国と地域の人間居住環境領域の専門家が発足し、自主性を重んじる非政府系の学術団体として、人間居住環境建設領域の国際協力及びアジアの地域間協力を大いに力を注ぎ、アジア各国の人間居住環境科学の理論研究と実践活動を支援している。

- 福岡アジア都市研究所

福岡市や市民・産業界・学会などの協力と連携のもとに都市政策を研究し、アジアの視点を取り入れながら、将来の都市戦略を提言する研究機関。「財団法人福岡都市科学研究所（昭和63年設立）」と「財団法人アジア太平洋センター（平成4年設立）」を統合し平成16年発足。

- アジア景観デザイン学会

景観材料に係わる企業を中心に平成9年から開催してきた「九州景観材料研究会」を母体とし、大学、経済産業省、国土交通省、福岡県、福岡市、北九州市と景観に関わる企業が一体となって、アジアにおける景観の諸課題に取り組む国際学会として平成16年発足。

◆ 資料

1. 概要

アジア都市景観賞は、アジアの人々にとって幸せな生活環境を築いていくことを目標に、国連ハビタット福岡本部、アジア人間居住環境協会、アジア景観デザイン学会、そして福岡アジア都市研究所の4団体によって、2010年に創設された景観に関する国際賞です。アジアの優れた景観をアピールし、また、発展を続ける景観形成事業を評価・顕彰することによって、アジアの景観を誇らしいものに導いていくことを目的に掲げ、他都市の模範となる優れた成果をあげた都市、地域、プロジェクト等を各国・地域から募集・選考し、表彰するものです。

2. アジア都市景観賞のねらい

- ・ 貴重な伝統・文化・習慣・歴史的意義の深い建造物や街並み、空間をアジア共通の資産として保全し、次の世代へ継承していくこと。
- ・ 各都市における美しい都市景観づくりの政策・計画・事業や活動から相互に学ぶ交流の機会を創出すること。
- ・ それに係る関係者(行政や企業)、市民の努力を認知し、一層の当事者意識の形成や啓発に寄与すること。

3. 評価基準

- ・ 地球環境に優しく、共存するものであるか
- ・ 安全で利用者に優しく、持続性があるか
- ・ 地域の文化、歴史を尊重しているか
- ・ 芸術性が高いか
- ・ 地域の発展に貢献し、他都市の模範となるか

4. 選考委員

国連ハビタット福岡本部	本部長	深澤 良信
	福岡本部長補佐官	星野 幸代
アジアハビタット協会	主席	劉 興達
	秘書長	肖 溪
アジア景観デザイン学会	名誉会長	佐藤 優
	会長	坂井 猛
福岡アジア都市研究所	副理事長	猪上 照明
	事務局長	梶原 信一
神戸芸術工科大学学長、芸術工学会会長		齊木 崇人
佐賀大学教授、都市計画学会九州支部幹事		有馬 隆文
韓国釜山大学校工科大学副学長		禹 申九
中国浙江建築科学設計研究院チーフプランナー		陳 安華

5. 2010年～2014年 アジア都市景観賞受賞案件

◇2010年アジア都市景観賞（第1回）

テーマ「グリーンアジア・美しい都市」

6か国・地域から11案件（日本3、中国4、韓国1、シンガポール1、香港1、マカオ1）

日本の受賞案件

札幌市 「モエレ沼公園」

福岡市 「シーサイドももち整備事業（海浜公園）」

熊本県小国町 「黒川温泉地区景観づくり事業」

◇2011年アジア都市景観賞（第2回）

テーマ「人間環境と都市復興」

4か国から10案件（日本4、中国3、韓国2、タイ1）

日本の受賞案件

広島市 「原爆による廃墟からの都市復興」

熊本市 「熊本城復元整備とまちづくり」

神戸市 「ガーデンシティ舞多間みついけプロジェクト」

福岡市 「福岡市都市景観賞」

◇2012年アジア都市景観賞（第3回）

テーマ「住みよいまち、豊かな生活」

4か国・地域から9案件（日本2、中国3、韓国3、香港1）

日本の受賞案件

倉敷市 「倉敷美観地区」

鹿児島市 「鹿児島市の市電軌道緑化整備事業」

◇2013年アジア都市景観賞（第4回）

テーマ「都市の誇りを育む景観」

5か国から11案件（日本3、中国3、韓国2、インドネシア1、ベトナム2）

日本の受賞案件

長崎市 「出島復元整備事業とまちづくり」

松江市 「縁雫（えにしずく）による雨の日の松江プロジェクト」

北九州市・下関市 「関門海峡が結ぶ景観に配慮したまちづくり」

◇2014年アジア都市景観賞（第5回）

テーマ「未来へ幸せをつなぐ景観」

6か国から12案件（日本4、中国3、韓国2、ネパール1、バングラデシュ1、スリランカ1）

日本の受賞案件

宮古市 「東日本大震災からの復興の象徴『三陸鉄道』」

姫路市 「保存修理を通じて次世代に継承する人類の文化遺産姫路城とまちづくり」

福岡市 「博多駅を中心とした連携整備プロジェクト」

竹田市 「竹田地区街なみ環境整備事業 ～歴史的風致を活かした景観まちづくり～」

以上

チャレンジするアジアの都市景観



アジア都市景観賞受賞都市 (左から「倉敷」「群山(韓国)」「烏鎮(中国)」「福岡」) ※URC提供

美しい景観は、そこに住む人々にやすらぎや活力を育みます。ダイナミックに成長するアジアでは、都市化が進む中、歴史的意義の深い建造物や街並みなど伝統を生かす街づくりや、あるいは都市の新たな顔となる都市空間の創生など、都市のアイデンティティにつながる魅力的なエリアが多数形成されてきており、人々を幸せにする環境と調和した豊かな景観づくりのチャレンジが活発に行われています。

今回のセミナーは、東アジア各都市の景観づくりの実際を政策・計画・事業や活動など多様な視点から紹介し、都市景観の創造、維持・保護などに興味をお持ちの方々にこれからのまちづくりを考えるきっかけになればと期待しています。

関心をお持ちの皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

- 日時：平成27年10月27日(火) 10:00~12:00 (開場9:30)
- 場所：グランドハイアット福岡 3階ホール (福岡市博多区住吉1丁目2-82)

■プログラム (日英同時通訳付)

10:00~10:10 開会 / 趣旨説明 (問題提起)

九州大学大学院芸術工学院 教授、アジア景観デザイン学会名誉会長 佐藤 優氏



佐藤 優氏

10:10~10:35 報告① アジアの景観デザイン - これまでとこれから -

九州大学大学院工学研究院教授、アジア景観デザイン学会会長 坂井 猛氏



坂井 猛氏

10:35~11:00 報告② 都市計画と景観づくり (韓国の事例)

西京大学 (ソウル市) 都市工学科 教授 金 俊榮氏



金 俊榮氏

11:00~11:25 報告③ 経済成長と景観づくり (中国の事例)

アジアハビタット協会 (本部: 香港) 主席 パトリック リュー 氏



パトリック リュー 氏

11:25~12:00 質疑応答 / 総括

■主催 公益財団法人 福岡アジア都市研究所

■共催 国連ハビタット福岡本部、アジアハビタット協会、アジア景観デザイン学会、福岡市

■後援 福岡県、九州大学、一般社団法人芸術工学会、公益社団法人日本都市計画学会九州支部、公益社団法人日本サインデザイン協会、公益社団法人土木学会西部支部、NPO 法人福岡デザインリーグ、株式会社西日本新聞、福岡商工会議所、福岡地域戦略推進協議会 [FukuokaD. C.] (順不同) 《裏面に続きます》

申込み 平成27年 **10月23日(金)まで** (※当研究所必着)

定員 100名 (申込多数の場合は先着順とさせていただきます) **参加無料**

「10/27 都市セミナー (アジア都市景観) 聴講希望」と明記のうえ、参加希望者の《氏名・(ふりがな)》《住所》《所属》《電話番号》《メールアドレス》を書いて、E-mail または FAX にて、福岡アジア都市研究所まで申込み下さい。なお、当研究所ホームページ (<http://www.urc.or.jp>) から申込みが可能です。

申込み・問合せ先 公益財団法人福岡アジア都市研究所 (担当: 馬場・唐)

住所: 〒810-0001 福岡市中央区天神 1-10-1 福岡市役所北別館 6階
TEL: (092) 733-5686、FAX: (092) 733-5680、E-mail: event3@urc.or.jp

参加申込み票 (FAX 用)

公益財団法人福岡アジア都市研究所 (FAX. 092-733-5680) 宛

(公財)福岡アジア都市研究所 平成27年度第3回都市セミナー

チャレンジするアジアの都市景観

ふりがな	
氏名	
住所	〒 -
所属	
電話番号	
E-mail	

申込み締め切り日時: 平成27年10月23日(金) (※当研究所必着)

※申込み後、整理券は送付しません。当日は直接会場へお越しください。

※記載いただいた個人情報は、本セミナーの運営、および当研究所からのご案内以外には使用しません。